

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

| | | | | | |
|------|---------------|-----|-------|---------------|--|
| 法人名 | 社会福祉法人 ふるさと | 代表者 | 北島 淳朗 | 法人・事業所 の特徴 | 佐世保港を一望する丘に立つ「小規模多機能ホームふるさと」は、併設施設にグループホームやサービス付き高齢者向け住宅があり、これまで自宅での不安や困っていたことを解消できる事業所です。ゆとりある空間では、レクリエーションや季節ごとの様々な行事はもちろん、思い思いにゆったりと自分の時間をお過ごしいただけます。 |
| 事業所名 | 小規模多機能ホームふるさと | 管理者 | 辻純子 | | |

| | | | | | | | | | | |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|------|
| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
| | 1 人 | 1 人 | 2 人 | 人 | 1 人 | 人 | 人 | 5 人 | 人 | 10 人 |

| 項 目 | 前回の改善計画（目標） | 前回の改善計画に対する取り組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画（目標） |
|----------------------------|--|--|--|--|
| A 事業所自己評価の確認 | 引き続き、自己評価の内容を職員一人一人が意識して業務に携わっていく | 自己評価の内容について職員一人一人が、内容を理解し意識しながら業務に携わっていくことができるように、意見交換の場をもうけたり研修会を実施した。 | ・職員自己評価については、常勤職員全員と非常勤職員 1 名が評価したものを、総合的な意見として、また、事業所としての外部に対してのきちんとした表明として、管理者を中心としてまとめあげたものです。（事業所） ・介護職員の自己評価内容から、きめ細やかな対応と職場への情熱が感じられ、感心しました。（地域代表） | 自己評価の内容や改善計画を全職員が意識して業務に携わっていく |
| B 事業所のしつらえ・環境 | 施設の老朽化に伴う対策を取りながら、より居心地の良い空間づくりに努めていきたい。 | 施設の設定備点検を定期的に行い、メンテナンスが必要な場合は速やかに対応することができた。また、利用者懇談会やアンケート、個別面談を実施した際に、事業所のしつらえや環境について、具体的な意見や思いをおたずねし、出来る限り環境を整えられるように努めた。 | ・建設当初（50 年前）施設からの排水問題があったが、現在の排水は問題ないのか？（地域代表） ⇒建設当初よりきちんと整備されており問題はありません。（事業所） ・施設の老朽化に伴う対策を取りながら、より心地よい空間づくりに努めています。（事業所） | 引き続き、老朽化に伴う対策を取りながら、より心地よい空間づくりに努めていく。 |
| C 事業所と地域のかかわり | 事業所の活動内容をもっと地域の方に知って頂ける様に SNS などを利用して広報活動に努めていきたい。 | SNS での情報発信に加え、地域住民を招待した「スプリングマルシェ」の開催やオープンホームの開催、リモートコンサートや小学校とのリモート交流会等の実施により、事業所と地域の関わりを発信する事ができた。 | ・ブログやインスタグラムによる情報発信やオープンホームを 3 回開催し認知度アップに努めました。（事業所） ・オープンホームの来客者数は？（利用者家族） ⇒1 回目（脳トレ）は 9 名、2 回目（お薬の説明）は 3 名、3 回目（ACP）は 2 家族でした。勉強系のテーマだと参加が難しくなる傾向があり、来年度はイベント的な内容で来場者数を増加できる様検討していきたい。（事業所） | オープンホーム等のイベントを企画し令和 7 年度の参加者以上の集客を目指す |
| D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み | 積極的に地域行事に参加する機会を設けていきたい。 | 地域行事も減少傾向にあるため、法人で地域交流イベントを企画し（スプリングマルシェ・オープンホーム・リモート交流会等）地域との交流や楽しみ・生き甲斐づくりに努めた。 | ・運営推進会議毎の活動状況写真を見ると、「利用者様を施設の中に閉じ込めていない」という取り組みがよく分かり素晴らしいと思います。（西海市長寿介護課） | 外出や面会等ご利用者の意向を出来る限り反映したケアプラン立案に努める。 |

| | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|
| E 運営推進会議 を活かした取 組み | 運営推進会議の場を活用し活発な意見交換や情報共有に努めていきたい。 | 委員の皆様は積極的に参加頂き、西海市長寿介護課からは毎回ご参加いただいた。会議を介して行政や事業所・地域とつながり「相談し合う関係」を構築することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取組や相談内容については、運営推進会議の中の活動状況報告の中で毎回お伝えしております。実際に会議の中で地域の心配な高齢者についての相談については、その後、関係者・機関と連携し対応しております。（事業所） ・運営推進会議での活動報告写真を通じ、利用者が施設内に限定されない活動的な生活を送っていることが評価される。（西海市社会福祉協議会） | 引き続き運営推進会議の場を活用していただけるような会議運営・進行に努めていく。 |
| F 事業所の防 災・災害対策 | 定期的に計画・訓練の見直しを行いながら防災・災害・防犯に対する職員の意識を高めていきたい。 | 定期的に訓練やマニュアルの検証を実施し、訓練実施後は振り返りや見直しを行い、職員一人一人が精度を高めていけるように努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している避難訓練が素晴らしい。昼間だけでなく、実際に利用者に説明し動いてもらう実践的な訓練は、もしもの時のご本人さんの動きにもつながる。（西海市長寿介護課） ・防災の備蓄品（食品・水）は法人単位か事業所単位か？（利用者家族） ⇒食事・水は事業所単位で備蓄していますが、食事については「クックフリーズ」を導入しており、法人内特養で作った食事を急速冷凍したものを一括管理し、14 日分程度を備蓄できる状態になっています。 また、福祉避難所としての取り組みについて、西海市と連携し福祉避難所としての位置づけを提案し、介護の必要な方や独居の方を優先的に受け入れる体制を準備しているところ です。（事業所） | より実践的な防災・災害と感染症対策訓練を実施していく。 |